

【訂正情報】
商品コード：120-9207
ISBN：9784800592071
1冊合格！運行管理者試験（貨物）

◎本書の記述において下記のとおり誤りがございました。訂正しお詫び申し上げます。

【2024 年 12 月 20 日現在】

更新日	刷	頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
↓本文					
2024. 12. 20	1	35	(1)演習問題 1 問目	貨物自動車運送事業者は、 <u>呼気中のアルコール濃度 0.15mg/L 以上</u> の乗務員を事業用自動車に乗務させてはならない。	貨物自動車運送事業者は、呼気中のアルコール濃度 0.15mg/L 未満であれば乗務員を事業用自動車に乗務させることができる。
2024. 12. 20	1	36	(7)※部分	削除	
2024. 6. 17	1	40	(1)業務前点呼 1行目	業務に従事しようとする運転者等を開始しようとする	業務に従事しようとする運転等を開始しようとする
2024. 7. 9	1	57	演習問題 3問目 2行目	① 運運行の	① 運行の
2024. 7. 9	1	75	演習問題 3問目 2行目	操作してないけない。	操作してはいけない。
2024. 6. 17	1	79	演習問題 4問目 6行目	記載した書面及び故郷の状況	記載した書面及び故障の状況
2024. 12. 20	1	81	演習問題 1 問目 1 行目	高速自動車国道証	高速自動車国道
2024. 6. 17	1	105	ここがポイント 4行目	半場目的	販売目的
2024. 6. 17	1	107	演習問題 3問目 3行目	自家用自動車であるもの自動車検査証の	自家用自動車であるものの自動車検査証の
2024. 12. 20	1	108	(4)自動車検査証等の有効期間起算日 3 行目	自動車車検証の有効期間が満了する日の <u>1 カ月前</u>	自動車車検証の有効期間が満了する日の <u>2 カ月前</u> ※令和 7 年 4 月 1 日施行

更新日	刷	頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
↓本文					
2024.6.11	1	133	ページ下の図 駐車・停車フロー		
2024.12.20	1	136	図表の項目表記 「特別な教習を受けての取得」	特別な教習を受けての取得	中型免許・大型免許において 特別な教習を受けて取得する場合
2024.12.20	1	142	(2) 高速道路の最高速度 図表 2 項目目	大型トラック、中型トラック(車両総重量 8t 以上、最大積載量 5t 以上)、トレーラ(連結車)⇒ <u>80km/h</u>	大型トラック、中型トラック(車両総重量 8t 以上または最大積載量 5t 以上)⇒ <u>90km/h</u> トレーラ(連結車)⇒ <u>80km/h</u>
2024.6.11	1	143	演習問題にチャレンジ 選択肢を○×で答えてみよう！ 1 問目の解答	×	○
2024.7.9	1	143	演習問題 1 問目 1 行目	貨物自動車運送事業のように供する	貨物自動車運送事業の用に供する
2024.7.9	1	143	演習問題 2 問目 1 行目	貨物自動車運送事業のように供する	貨物自動車運送事業の用に供する
2024.6.11	1	163	演習問題 4 問目 1 行目	親交	進行

更新日	刷	頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
↓本文					
2024. 12. 20	1	166	図表 2 項目目 「公安委員会～」右の解説	過積載防止のために必要な措置をとることができる。	過積載防止のために必要な措置をとることができる(58 条の 4)。 当該使用者に係る当該自動車につきその指示を受けた後一年以内に違反行為が行われ、かつ、当該使用者が当該自動車を使用することについて著しく交通の危険を生じさせるおそれがあると認めるときは、当該自動車の使用の本拠の位置を管轄する公安委員会は、政令で定める基準に従い、当該使用者に対し、3カ月を超えない範囲内で期間を定めて、当該自動車を運転し、又は運転させてはならない旨を命ずることができる(75 条の2)。
2024. 12. 20	1	167	ここがポイント 4 行目	例えば、警察官が売車両の使用者や	例えば、警察官が車両の使用者(運送事業者)や
2024. 12. 20	1	173	ここがポイント 1 行目	使用者(事業者)	使用者(事業主)
2024. 12. 20	1	208	(1)拘束時間と休息时间 拘束時間の 1 行目	就業	終業
2024. 12. 20	1	209	演習問題 3 問目	○	×
2024. 8. 27	1	209	演習問題 3 問目	印なし	5 月～8 月の拘束時間に下線
2024. 8. 27	1	211	演習問題 2 問目	○ 15 時間超が1回、休息期間 9 時間未満	× 休息期間 9 時間未満
2024. 6. 25	1	215	演習問題 3 問目 赤字解説	4 時間 30 分の連続運転時間	運転中の休憩時間の合計が 30 分未満
2024. 12. 20	1	216	(1)の見出し	8 時間以上休息期間を与えることが困難な場合の特例	9 時間以上休息期間を与えることが困難な場合の特例
2024. 12. 20	1	216	(1) 1 行目	勤務の終了後継続した 8 時間以上の	勤務の終了後継続した 9 時間以上の

更新日	刷	頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
↓本文					
2024.12.20	1	216	(1) 6 行目以降	1 日において 1 回当たり継続4時間以上、合計 10 時間以上でなければならない。	1 日において 1 回当たり継続 3 時間以上、2 分割又は3分割とすること。1 日において、2 分割の場合は合計 10 時間以上、3 分割の場合は合計 12 時間以上の休息期間を与えなければならない。また、休息期間を3分割とする日が連続しないよう努めるものとする。
2024.12.20	1	217	演習問題 1 問目 1～2 行目	勤務の終了後継続した 8 時間以上の休息期間を与えることが困難な場合は、	勤務の終了後継続した 9 時間以上の休息期間を与えることが困難な場合は、
2024.12.20	1	218	(4) 自動車運転者がフェリーに乗船する場合 3～5 行目	上記により休息期間とされた時間を休息期間 8 時間(2 人乗務の場合 4 時間、隔日勤務の場合 20 時間)から減ずることができる。	上記により休息期間とされた時間を与えるべき休息期間から減ずることができる。
2024.12.20	1	218	(5)一定期間	項目を削除	
2024.12.20	1	218	(6)休日労働	項目を削除	
2024.12.20	1	219	演習問題 2 問目 1～3 行目	フェリー乗船時間により休息期間とされた時間を休息期間 8 時間(2 人乗務の場合 4 時間、隔日勤務の場合 20 時間)から減ずることができます。	フェリー乗船時間により休息期間とされた時間を与えるべき休息期間から減ずることができる。
2024.12.20	1	219	演習問題 3 問目	設問を削除	
2024.7.9	1	228	(6)睡眠時無呼吸症候群(SAS) 1行目～	睡眠中にしたが喉の奥に沈下することにより、軌道がふさがれ、	睡眠中に舌が喉の奥に沈下することにより、気道がふさがれ、
2024.6.11	1	228	(8)アルコールの摂取量 3行目	必要な時間雄目安	必要な時間の目安
2024.6.11	1	230	(1)交通事故の場合 ④の1行目	警察官に自己の発生を報告し	警察官に事故の発生を報告し
2024.6.24	1	232	(4)大地震の場合 ③の 1 行目	非難	避難

【訂正情報】

商品コード：120-9207

ISBN：9784800592071

1 冊合格！運行管理者試験（貨物）

更新日	刷	頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
↓ 本文					
2024. 6. 25	1	233	ここがポイント！ 2行目	窓を閉めないことが重要	窓を閉めることが重要
2024. 12. 20	1	258	① 2 行目	最高速度は時速 80km/h ある。	最高速度は時速 90km/h である。
2024. 12. 20	1	258	① 6 行目及び解答	不適切である。 ×	適切である。 ○